

廃アルミ活用

UAEで調査

アルハイテック

環境ベンチャーのアルハイテック（高岡市）は、アラブ首長国連邦（UAE）で、廃アルミから水素を発生させ、副産物をリサイクルする調査に乗りだす。同社が20日までに、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が委託する調査事業に採択された。

同社はUAE政府機関やアルミを製造する企業などと協議し、廃アルミによる水素の生成や副産物の利用

に関する計画を策定する。

委託事業費は2千万円で、来年3月末まで調査する。

調査結果の査定後、実証前調査（補助額6千万円）、実証研究（同10億円）に移行する。